

科目名	特別演習（卒業必修）				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2021年度 前期～後期	単位数	2		
担当教員	鈴木 勲				
内容および計画	各自で選定した児童家庭福祉領域に関係する卒業論文を完成させるための論文指導、具体的には研究論文の書き方、研究報告の方法などを中心に授業を行う。また、受講者の関心に応じた施設見学やフィールドワークなども予定している。受講者と相談の上、受講者の興味関心に応じた授業としたいため、授業展開の変更もありうる。				
1	オリエンテーション				
2	研究論文の書き方（1）				
3	研究論文の書き方（2）				
4	研究論文の書き方（3）				
5	研究論文の書き方（4）				
6	施設見学の事前学習（1）				
7	施設見学の事前学習（2）				
8	施設見学（1）				
9	施設見学（2）				
10	施設見学（3）				
11	施設見学の事後学習				
12	研究論文の発表方法（1）				
13	研究論文の発表方法（2）				
14	フィールドワークの事前準備（1）				
15	フィールドワークの事前準備（2）				
16	フィールドワークの事前準備（3）				
17	フィールドワークの実施（1）				
18	フィールドワークの実施（2）				
19	フィールドワークの実施（3）				
20	フィールドワークの事後学習（1）				
21	フィールドワークの事後学習（2）				
22	フィールドワークの事後学習（3）				
23	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
24	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
25	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
26	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
27	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
28	各自のテーマに沿った卒業研究の執筆とその指導				
29	研究報告会とそのまとめ（1）				
30	研究報告会とそのまとめ（2）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

特にテキストの指定はしない。必要な資料は授業時に配布する。				
<b>参考書</b>				
<b>成績評価</b>				
<b>評価方法</b>				<b>割合(%)</b>
授業への取り組み				100
普段から新聞や文献などをおして、児童家庭福祉領域に関する社会的な問題に目を向けるようにする。				
<b>学習到達目標</b>	1.卒業研究をおして、受講者自身が選定した研究テーマに関する見知を深め、適切な論文作成のための技術を身に付ける。 2.研究報告会などをおして、論理的に自分の考えを相手（読者）にわかりやすく伝える技術を身に付ける。施設見学やフィールドワークをおして、児童福祉領域の社会的な問題を現場から学ぶ体験をする。			
<b>先修条件</b>	特になし。			
<b>実務経験</b>				
<b>その他</b>	特になし。			